

わたくしたちの健康

誤解の多い「潰瘍性大腸炎」

朝霞地区医師会 かみいち ひでお 上市 英雄

☎464-4666

潰瘍性大腸炎は、大腸に慢性炎症を起こす原因不明の難病です。特に10代後半から40代で発症することが多い病気、繰り返す腹痛・下痢・血便が主症状です。

「難病」であり、治らないと言われると怖く感じるかもしれません。また、若くして発病すると、進学や就職、結婚や出産といった人生設計が、病気のためにダメになってしまうのでは？と心配される方もいます。確かに軽んじてはいけませんが、必要以上に恐れたり、絶望したりする病気ではありません。それぞれ誤解を解いていきましょう。

1. 「原因不明の難病！不治の病！もうダメだ」という誤解

「難病」ですが、特定疾患治療研究の対象疾患であり、近年の研究により遺伝因子・環境因子・免疫応答など多因子疾患であることが判明しつつあります。

特定疾患の中では最多の17万人が医療費の公費負担を受けています。このように、潰瘍性大腸炎は珍しい病気ではなく、個人の治療費負担も軽減されています。

確かに治る病気ではありませんが、病状を制御できれば良いのです。例えば、糖尿病や高血圧、花粉症も治る病気ではありませんが、薬で制御すれば日常生活には問題ありません。潰瘍性大腸炎も同様です。治らない病気だから「もうダメだ」と思う必要はありません。

2. 「進学や就職、結婚がダメだ」という誤解

安倍前総理大臣が潰瘍性大腸炎だったことは有名です。総理大臣ほど忙しく、ストレスが多い仕事はなかなか無いでしょう。第一次内閣は、病状が悪化し、お辞めになりましたが、第二次内閣は、史上最長の政権となりました。その陰には、治療薬の開発、治療法の進化があります。総理大臣ほど忙しい方でも、病気を抱えながら仕事をすることができました。社会的にもこの病気に対する理解が進んできています。進学や就職、結婚がダメになるということではありません。

3. 「薬の影響で、流産や早産、先天奇形がおきる」という誤解

潰瘍性大腸炎の治療に使用される薬が妊娠に影響を及ぼすか？という世界的な研究結果のお話をします。治療の中心的役割を果たすメサラジンは、妊娠中でも安全に使用できるとされています。ステロイドもおおむね心配ない結果でした。また、免疫調整薬であるチオプリン製剤については、使用したの方が流産や早産、先天奇形、低出生体重が少ないという2013年の研究結果があります。そして、薬を中止し症状が悪化した場合、早産や先天奇形などのリスクが上がるということが分かっています。薬を継続しても通常の妊娠とリスクは変わらず、むしろ中止した方が好ましくないという結果が出ました。症状が強くなる活動期であれば、そもそも妊娠は困難です。

つまり、病状の抑制とその維持が最も重要であり、妊娠前から担当医とよく相談して、計画妊娠することが望ましいでしょう。

4. 「落ち着いたら、もう大腸内視鏡検査はしなくていい」という誤解

潰瘍性大腸炎の患者さんは、健康な方と比較して大腸がんになる可能性が高いです。若くして発症し、病気の期間が長い方、炎症範囲が広い方はより注意が必要です。また、大腸がんは、潰瘍性大腸炎の症状が落ち着いている時期でないと発見・診断が困難です。潰瘍性大腸炎の発症から、7年以上経過していれば、病状が落ち着いていても年1回は大腸内視鏡検査が必要です。

このように、様々な研究がされて治療法も進化し、医療費の公的負担もあり、社会的にも理解が進んでいます。薬で病状を制御し定期的な検査を行えば、怖がる必要はありません。

わたくしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
4	4	志木	志木ホームクリニック	内、小	487-1255	朝霞	宮戸クリニック	外、内、整外、肛	474-5103
	11	朝霞	朝霞駅東口たんば内科クリニック	内、消内	450-2211	新座	いしもと脳神経外科・内科	脳外、内	483-7111
	18	新座	きたざわこどもクリニック	小、アレ	424-8633	志木	幸町クリニック	消内、内、外、肛	485-5600
	25	新座	坂本医院	内	481-4839	朝霞	はねだクリニック	内、外、消内、肛、放	469-2139
	29	和光	和光駅前クリニック	外、内、小、整外、消内、肛、リハ	460-3466	新座	新座むさし野クリニック	内、アレ、循内	489-5323

日曜日、祝日に開局している薬局

下のQRコードから確認できます。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

休日歯科応急診療所

新座市保健センターの移転工事に伴い、終了となりました。今後は、応急診療所を担当歯科医院等にて開所予定です。
令和3年度開所予定／5月・12月・令和4年1月(該当月の広報あさかに掲載します)

救急医療のお問い合わせ

●埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123
●埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS)